

ドリップケトル用温度調整IHヒーター

EDI-1



本製品は日本国内用に設計されておりますので、日本国外での使用はできません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

取扱説明書
保証書付

お買い上げ誠にありがとうございます。
正しくご使用していただくため、取扱説明書
を必ずお読みください。また、本書は保証書
が付属しておりますので、お読みになりました
ら、大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1～3
使用上のお願い	3
各部の名称とはたらき	4～5
使えるケトル・使えないケトル	6
使えるケトルの見分け方	7
ご使用場所について	8
安全機能	8
ご使用方法	9～12
お手入れ	13
故障かな?と思ったら	14～15
アフターサービスについて	16
製品仕様	17
保証書	裏表紙

※本書に記載されているイラストはイメージです。

安全上のご注意 ①

本製品は一般家庭用です。業務用としてや、加熱以外の目的に使用しないでください。

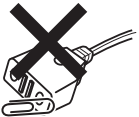
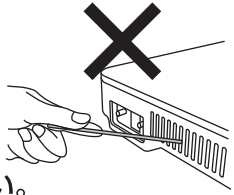
ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

以下の警告マークを表示している事項はいずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

図記号の例

 禁止 してはいけない内容	 指示 実行しなければならない内容
---	---

 警 告	
 禁止	<電源プラグ・コードについて> ●電源プラグ・コードを傷つけない、引っばらない、無理に曲げない、ねじらない、束ねない、はさみ込まない、重いものをのせない、加工しない。 発熱・火災・感電の原因になります。 ●電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電・ショート・発火・けがの原因になります。 ●付属の電源コード以外使用しない。 ●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 故障の原因となります。 ●電源コードは足に引っかかると、本体の落下や、転倒によりけがの原因となる。 
 指示	●電源プラグは根元まで確実に差し込む。また、マグネットプラグを本体に接続する際は、接続部に異物がないか確認し、異物は取り除く。 感電・発熱・故障などの原因になります。 ●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する。 
 禁止	<お取扱いについて> ●絶対に分解・修理・改造をしない。 発火・感電・けがの原因になります。 ●本体や電源コードに水をかけたり、水洗いをしない。 ●排気口・吸気口やすき間に、ピン・針金などの金属や異物類を入れない。 感電・ショート・異常動作を起こし、けがなどの原因となります。 

安全上のご注意 ②

⚠ 警 告



禁止

- トッププレートの上にケトル以外のもの(ガスボンベ・缶詰・電池・その他電気製品など)をのせない。
- トッププレートの上にアルミ製品(使い捨て簡易鍋・アルミホイル・レトルトパックなど)を置かない。
爆発・火災・やけどなどの原因になります。
- トッププレートに衝撃を与えない。トッププレートが破損した場合は使用しない。
- トッププレートの上や近くに紙など燃えやすいものを置かない。
火災の原因になります。
- 火やストーブのそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など高温になる場所に保管しない。
発熱・発火・故障などの原因になります。
- 風呂場などのぬれた場所・高温多湿になる場所での使用はしない。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 不安定な場所や、熱に弱いもの(ビニールマットなど)の上に置かない。
変形・焦げ・火災などの原因になります。
- 小さな子供だけで使用させない。また、乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置かない。
- 自分で操作できない人や、取り扱いに不慣れな人だけで使用させない。
感電・けがの原因になります。



指示

- 加熱中はそばを離れない。
加熱されすぎて、発火や空焚きのおそれがあります。
- IH対応ケトルを使用する。
- 異臭・発熱・異音・変形・変色など、今までと異なることに気がついたときは使用しない。
発熱・発煙・発火の原因になります。

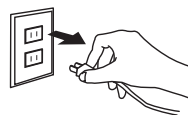
⚠ 注 意



指示

<電源プラグ・コードについて>

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張ると、破損して、感電・ショート・火災の原因になります。
- 使用後やお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化などによる感電や漏電火災の原因になります。



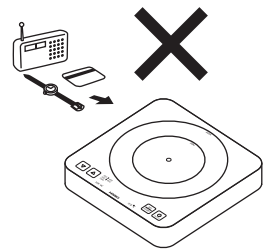
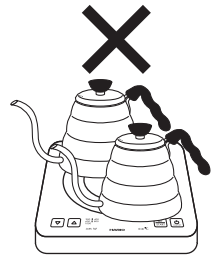
⚠ 注 意



禁止

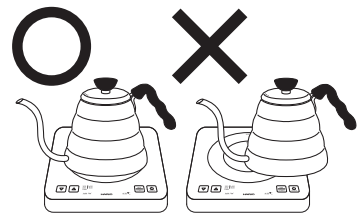
<お取り扱いについて>

- トッププレートに複数のケトルをのせて使用しない。
- 使用直後はトッププレートに触らない。
- トッププレートやケトルの底がぬれた状態で使用しない。
底面から湯気が吹き出して、やけどの原因になります。
- トッププレートにプロテクトシートなどを敷いて使用しない。
温度が正確に測れず、事故や故障の原因となります。
- 温度感知センサーに強い衝撃を与えたり、水や湯をかけない。
- 金属の台の上で使用しない。
- 不安定なところで使用しない。
- テーブルクロスの上で使用しない。
- 作動中に本体を揺らさない・移動させない。本体にケトルやものをのせたまま持ち運ばない。
- ぬれた手で触らない。
発熱・発火・感電の原因になります。
- 他の器具(ガスコンロなど)であらかじめ加熱したケトルを使用しない。
温度制御装置が動かず、過熱し、火災やけがなどの原因になります。
- 空焚きをしない。加熱しすぎない。
- 加熱中・加熱後のケトルの下に紙など燃えやすいものを敷かない。
火災の原因になります。
- ぶつけるなど強い衝撃を与えない。
- 排気口・吸気口をふさがない。
本体内部の温度が上昇し、故障などの原因になります。
- 使用中は磁力線が出ているので、磁気の影響を受けやすいものを近づけない。
テレビ・ラジオなどは乱れや雑音などが入ることがあります。
キャッシュカード・磁気式定期券などは記録が消えることがあります。



指示

- ケトルは円の中央に置いて使用する。
- 湿気やほこりの少ない場所で使用・保管する。
発熱・発火・感電の原因になります。
- 心臓用ペースメーカーをお使いの方は、
本製品のご使用に当たっては必ず医師に相談する。

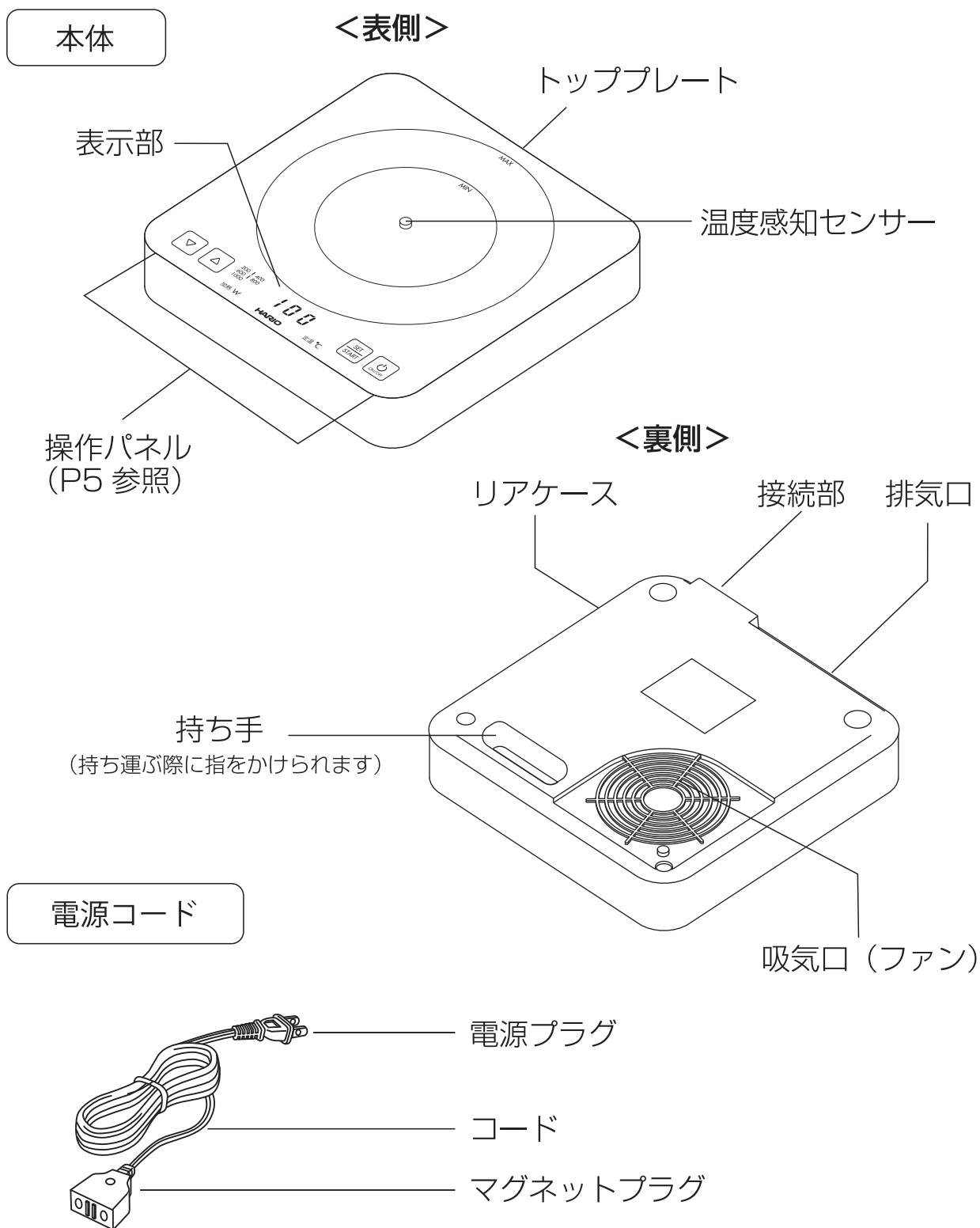


使用上のお願ひ

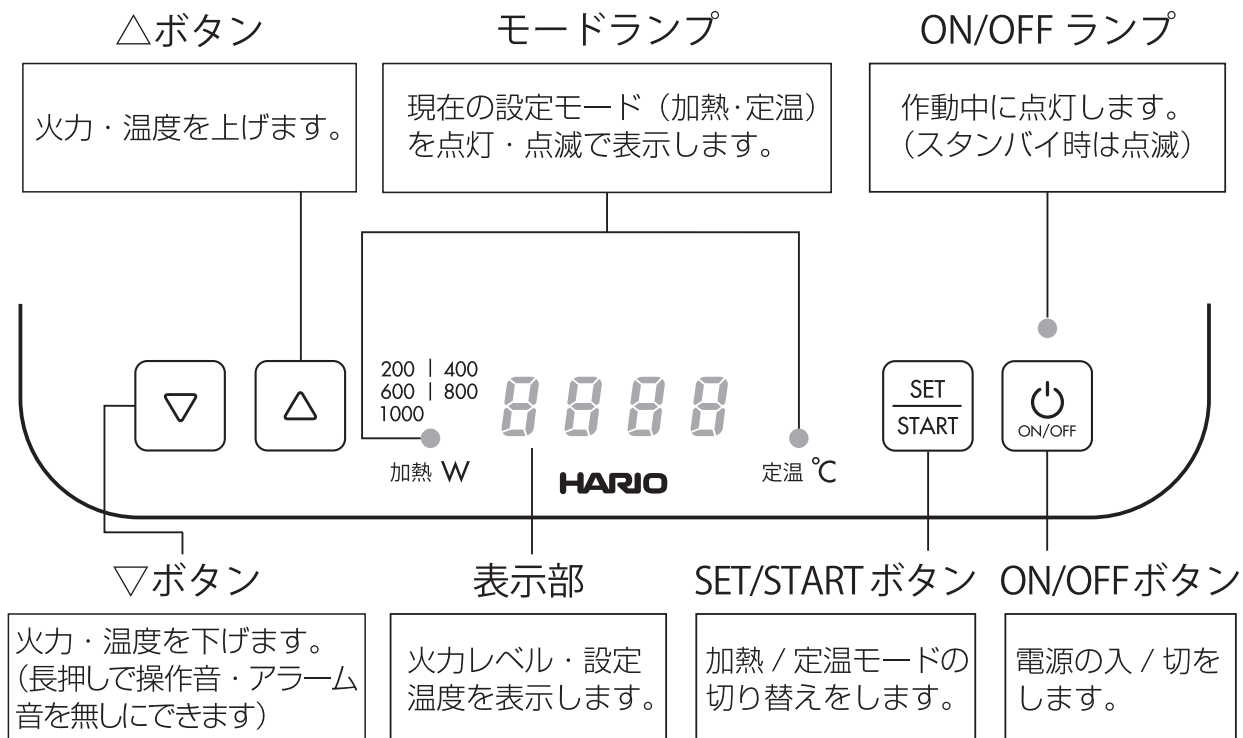
- ケトルの種類や形状により、ケトルの温度が急激に上がったり、高温になるものがありますので、ご注意ください。
- 本製品にリモコンなどの赤外線を発する装置を近づけないでください。
- 本製品を並べて使用しないでください。
- 本製品を他の IH 調理器の上で使用しないでください。

各部の名称とはたらき①

開封後、内容物をご確認ください。



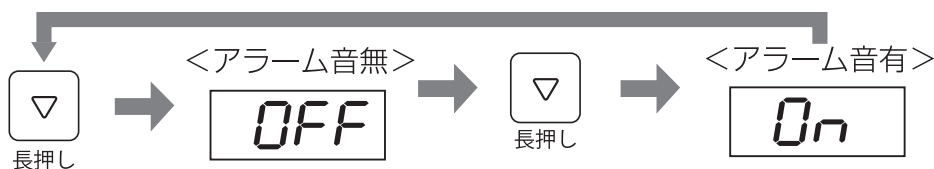
各部の名称とはたらき②（操作パネル）



■長押しについて

●操作音・アラーム音の「有 / 無」について

電源を入れる前に「▽」ボタンに2秒以上触れる（長押し）と、操作音・アラーム音を「無」に切り替えることができます。もう一度長押しするか、一度プラグを抜くと設定は解除されて初期（アラーム音有）に戻ります。



⚠ 「アラーム音無」にした場合、エラー時のアラーム音も鳴らなくなります。

●温度設定について

「ON/OFF」ボタンに触れます。

「△」「▽」ボタンに2秒以上触れる（長押し）と、温度を5℃ずつ設定することができます。



使えるケトル・使えないケトル

■ 安全のため、必ずIH対応ケトルをご使用ください。ケトルの形状・材質によってはIH対応ケトルでも本製品でご使用に出来ない場合があります。使用前に必ず下記の内容及び7ページの「使えるケトルの見分け方」でご確認ください。

○ 使えるケトル

材質

- 鉄・鉄鋳物・鉄ホーロー
- ステンレス（IH対応品）

（注1）上記の材質であっても底面形状・材質によって火力が弱くなったり、ケトルを検知しないことがあります。

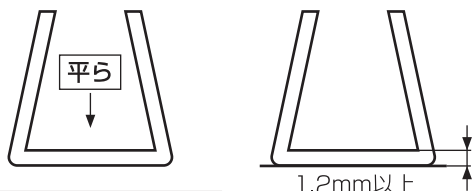
例）

- 底面に磁石が吸着しないケトルは、材質によってケトルを検知しないことがあります。
- 底面に鉄・ステンレス材を使用しているIH対応のケトルの場合でも、厚みや形状によってケトルを検知しないことがあります。

（注2）底面が多層構造のものは、底面内部の材質によって使えるものと使えないものがあります。多層構造のものをご利用の場合は、IH対応をご使用ください。

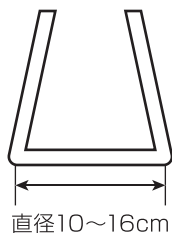
底面の形状

- 底面が平らで反りやへこみのないもの
- 底面の厚みが1.2mm以上のもの

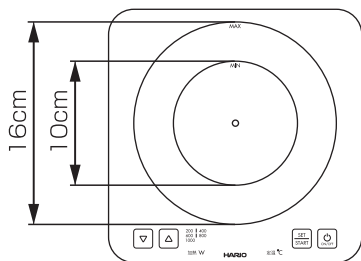


底面の大きさ

- 底面直径10～16cm



※使えるケトルの目安として、トッププレートにMIN(10cm)と、MAX(16cm)の印刷があります。



× 使えないケトル

材質

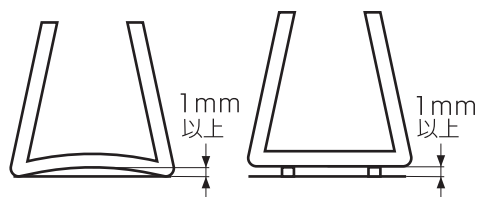
- 耐熱ガラス
- 陶器・陶磁器・セラミック
- アルミ・アルミ合金・銅を含むもの

底面の形状

- 底面が平らでないもの



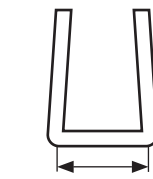
底面が丸いもの(中華鍋など)



本製品との間に隙間のあるもの

底面の大きさ

- 底面直径10cm未満または16cmを超えるもの



10cm未満のケトル



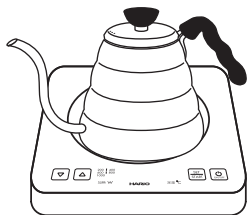
16cmを超えるケトル

※使えるケトルでも、大きさ・形状・材質などにより、設定温度に対して内容物の温度が高くなったり低くなったりする場合があります。（実際の内容物の温度は、調理用温度計などで確認することをお勧めします。）

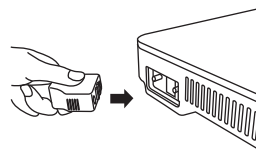
使えるケトルの見分け方

■ご使用前に、お持ちのケトルが本製品で使用可能か下記の方法で確認してください。

- 1 ケトルに水を入れて、トッププレートの円の中央に置く。



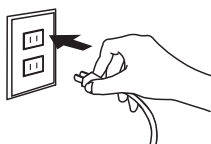
- 2 マグネットプラグを本体にセットする。
マグネットプラグを本体後面の接続部に取り付けてください。



❗ 接続部に異物などがいないか確認する

- 3 電源プラグをコンセントに差し込む。

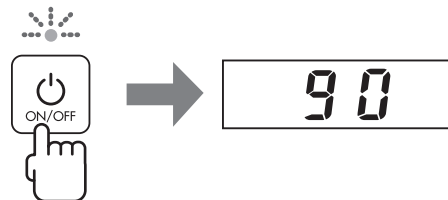
「ピー」と音が鳴り、表示とランプが一瞬全て点灯し、オフ状態となります。



❗ コンセントに確実に差し込む

- 4 「ON/OFF」ボタンに触れる。

表示部に「90」と表示され、ON/OFFランプが点滅し、スタンバイ状態となります。
※約2分間何も操作しないと「ピッ」と鳴り、オフ状態に戻ります。



- 5 「SET/START」ボタンに触れる。

○ 使える場合は、定温ランプが点滅して加熱がはじまります。

そのまま加熱がはじまれば、使用可能です。「ON/OFF」ボタンに触れて電源を切ってください。



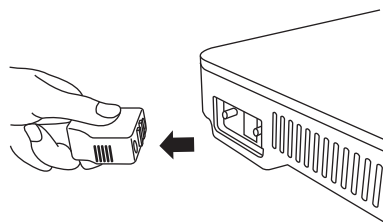
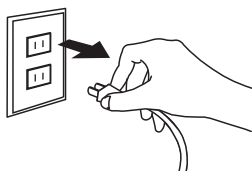
✕ 使えない場合は、「E1」表示されます。

加熱がはじまらず、「E1」が点滅表示された場合は使用できません。アラームが鳴り続き、しばらくするとオフ状態に戻ります。



- 6 電源プラグを抜く。

ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜いて、マグネットプラグを本体から抜いてください。



❗ 電源プラグを持って抜く

ご使用場所について

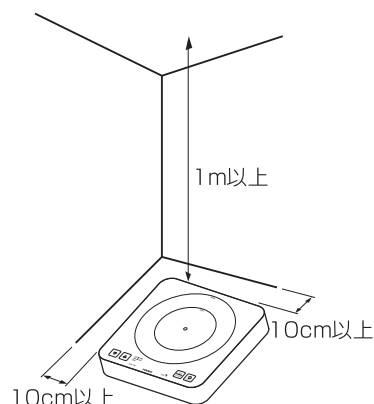
■本製品をご使用される場所について、下記の内容を確認してください。

- 上方や周囲に可燃物や壁・棚があるときは、
上方約1m以上、周囲約10cm以上離して使用してください。（右図参照）

⚠ 注 意

せまい場所で使用すると、内容物が飛び散った際に、
汚れややけど、火災などの原因になります。

- 水平で安定した場所で使用してください。
- 金属の台の上では使用しないでください。
- 吸気口・排気口をふさいだり、前に物を置いたり
しないでください。



安全機能

■作動中に異常を検知すると安全機能が働き、エラー表示やアラーム音でお知らせします。（下記は表示の一部です。）

安全機能	内 容	表 示
ケトル検知	トッププレートに使用できないケトルを置いて加熱した場合、加熱中にケトルをはずした場合、スプーンやナイフなどの金属小物を置いた場合、「E1」が表示され、「ピッ」とアラームが鳴り続け、オフ状態に戻ります。	E1 (点滅)
小物検知		
温度過昇防止	空焚きなどで底面の温度が異常に上昇すると、「E6」が表示され、「ピッ」とアラームが鳴り続け、自動的に加熱を停止します。	E6
切り忘れ防止	加熱時に最後の操作から約30分が過ぎると、「ピー」とアラーム音が鳴り自動的に加熱を停止し、オフ状態に戻ります。	表示無し
高温注意	トッププレートの温度が約60℃以上の場合に表示されます。 ⚠ トッププレートに触れない	H
電源コード 抜き忘れ防止	オフ状態になってから一定時間操作しないと、アラームが5回鳴ります。	表示無し

ご使用方法① ～定温モード～

■定温モード…一定の温度まで加熱するときに使います。

※設定可能な温度は60℃～96℃、100℃です。

設定温度によって、火力が変化します。

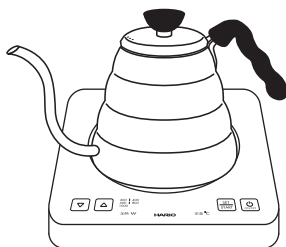
⚠ 注 意

※ケトルの大きさ、材質、形状、内容物などにより、設定温度に対して誤差が生じることがあります。
調理用温度計などで実際の温度を確認することをお勧めいたします。

- 使用直後はトッププレートが熱くなっておりますので、手を触れないようご注意ください。
- 加熱停止後も内部の温度によっては、しばらくの間ファンが作動します。
- 100℃で設定した場合、ご使用のケトルの材質や形状、水量などにより、沸騰前に電源が切れたり、沸騰後しばらく加熱が続く場合があります。

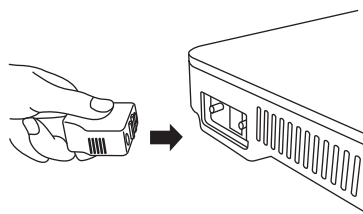
1 ケトルに水を入れて、円の中央に置く。

ケトルに水を入れて、トッププレートに表示されている円の中央に置いてください。



2 マグネットプラグを本体にセットする。

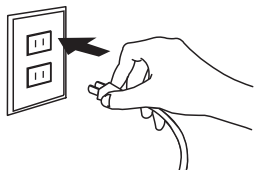
マグネットプラグを本体後面の接続部に取り付けてください。



⚠ 接続部に異物などがいないか確認する

3 電源プラグをコンセントに差し込む。

「ピー」と音が鳴り、表示とランプが一瞬全て点灯し、オフ状態となります。

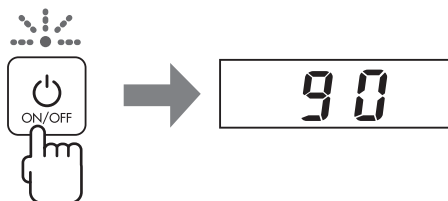


⚠ コンセントに確実に差し込む

4 「ON/OFF」ボタンに触れる。

表示部に「90」と表示され、ON/OFF ランプが点滅し、スタンバイ状態となります。

※約2分間何も操作しないと、「ピッ」と鳴り、オフ状態に戻ります。



ご使用方法② ～定温モード～

5 「△」あるいは「▽」ボタンに触れて、温度を調整する。

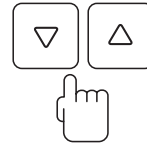
「△」「▽」に触れると、1℃ずつ温度設定ができます。

「△」「▽」に2秒以上（長押し）触れると、5℃ずつ温度設定ができます。

温度設定をしたら「SET/START」ボタンに触れてスタートさせます。

●設定可能な温度は 60℃～96℃、100℃です。

湯沸し：60℃～96℃、100℃
保 温：60℃～96℃



または



長押し

6 設定温度に達すると、アラームが鳴り加熱が停止される。

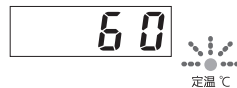
■設定温度が 60～96℃の場合

設定温度到達後、アラームが「ピッ」と鳴り、定温ランプが点滅から点灯にかわり、**約 30 分間保温**をします。その後「ピッピッピッ」と鳴りオフ状態となります。



例：設定温度が 60℃

加熱中、保温中にケトルを外すと「ピッ」連続音がしケトル検知機能が働きエラー（E1）となりますが、ケトルを1分以内に戻すと加熱又は保温を再開します。



設定温度到達するまで定温ランプが点滅します。



保温開始後、加熱・停止を自動で繰り返します。保温中は定温ランプが点灯に変わります。

■100℃の場合

設定温度到達後にアラームが「ピッピッピ」と鳴り、**保温はせずオフ状態**となります。



例：設定温度が 100℃



オフ状態となります。定温ランプが、点滅から消灯します。

※加熱後にトッププレートの温度が高くなっていると、「H」が表示されます。



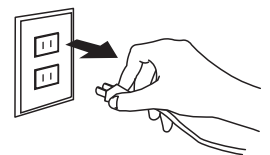
●加熱を中止したい場合には、「ON/OFF」ボタンに触れてください。

※「SET/START」ボタンでモードを切り替えると、設定は初期値に戻ります。

7 ご使用後は電源を切り、電源プラグを抜く。

加熱が終わったら「ON/OFF」ボタンに触れて電源を切り、ファンが停止したらコンセントから電源プラグ・本体からマグネットプラグを抜いてください。

※100℃設定の場合は、ファンが停止したらコンセントから電源プラグ・本体からマグネットプラグを抜いてください。



電源プラグを持って抜く

ご使用方法③ ～加熱モード～

■加熱モード…火力を調整するときに使います。(温度制御はされません。)

※設定可能な火力は200W～1000Wです。

⚠ 注意

- 使用直後はトッププレートが熱くなっておりますので、手を触れないようご注意ください。
- 加熱停止後も内部の温度によっては、しばらくの間ファンが作動します。
- 湯沸し以外では使用しないでください。

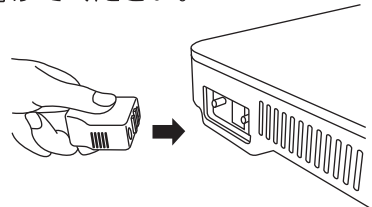
1 ケトルに水を入れて、円の中央に置く。

ケトルに水を入れて、トッププレートに表示されている円の中央に置いてください。



2 マグネットプラグを本体にセットする。

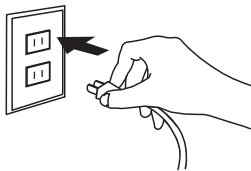
マグネットプラグを本体後面の接続部に取り付けてください。



⚠ 接続部に異物などがいないか確認する

3 電源プラグをコンセントに差し込む。

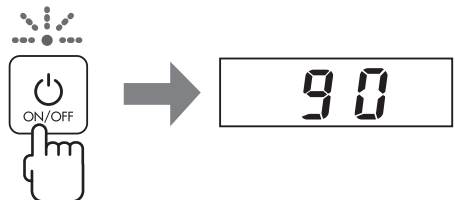
「ピー」と音が鳴り、表示とランプが一瞬全て点灯し、オフ状態となります。



⚠ コンセントに確実に差し込む

4 「ON/OFF」ボタンに触れる。

表示部に「90」と表示され、ON/OFF ランプが点滅し、スタンバイ状態となります。
※約 2 分間何も操作しないと、「ピッ」と鳴り、オフ状態に戻ります。



5 「SET/START」ボタンに2回触れて加熱モードにする。

表示部に「600」と表示され、加熱がスタートします。加熱モードでの加熱中は、加熱ランプが点滅します。

※初期設定は 600W です。

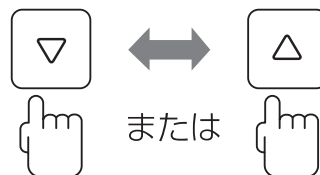


ご使用方法④ ～加熱モード～

6 「△」あるいは「▽」ボタンに触れて、火力を調整する。

設定可能な火力は「200W～1000W」の5段階です。

弱	200W	400W
中	600W	800W
強	1000W	



※加熱中は加熱ランプが点滅します。



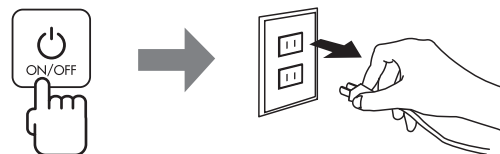
●加熱中でも「△」「▽」ボタンで火力の調整は可能です。

※「SET/START」ボタンでモードを切り替えると、設定は初期値に戻ります。

加熱中、ケトルを外すと「ピッ」連続音がしケトル検知機能が働きエラー（E1）となりますが、ケトルを1分以内に返すと加熱を再開します。

7 ご使用後は電源を切り、電源プラグを抜く。

加熱が終わったら「ON/OFF」ボタンに触れて電源を切り、ファンが停止したらコンセントから電源プラグ・本体からマグネットプラグを抜いてください。



❗ 電源プラグを持って抜く

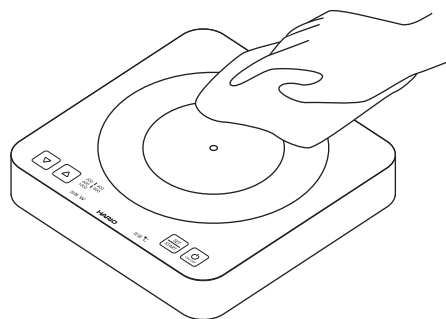
お手入れ

⚠ 注 意

- 必ずコンセントから電源プラグを抜き、本体からマグネットプラグをはずす。
- シンナー、ベンジン、みがき粉、漂白剤、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しない。
キズがついたり、変形・変質・損傷などのおそれがある。
- 水洗いをしない。
- 使用直後はトッププレートが熱くなっているので、十分冷ましてからお手入れを行なう。

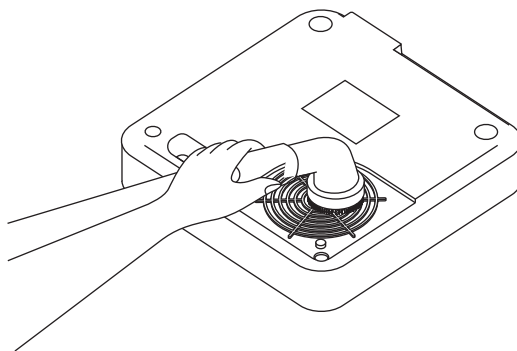
トッププレート・リアケース

- 1 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取る。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
- 2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させる。



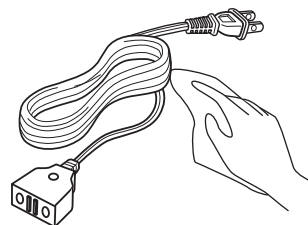
排気口・吸気口

- 1 掃除機でほこりを吸い取る。
ほこりがついたまま使用を続けると、本体内部に熱がこもったり、ほこりが侵入し発熱・発火・誤動作・故障の原因となります。



電源コード

- 1 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取る。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
- 2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させる。
接続部に汚れや金属ピンなどが付着しているとショートなどの危険があります。



故障かな？と思ったら①

こんなときは	原因	対策
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込んでください
	マグネットプラグがはずれている	本体接続部にマグネットプラグをセットしてください
	ブレーカーが落ちている	他の電化製品の電源を切るなどして、電気容量を超えないようにしてください
使用中で電源が切れた	マグネットプラグがはずれている	本体接続部にマグネットプラグをセットしてください
	ブレーカーが落ちている	他の電化製品の電源を切るなどして、電気容量を超えないようにしてください
	本体がオーバーヒート状態となっている (E2)	本体を十分冷ましてから、再度電源を入れてください
	加熱時、最後の操作から 30 分以上経過している	「切り忘れ防止機能」により電源が切れます。電源が切れる前に何らかの操作をしてください
	空焚き状態となっている (E6)	電源を切り、ケトルの温度が下がったことを確認してから、再度加熱をしてください
アラーム音が鳴っている・エラー表示が出ている	トッププレートにケトル以外の金属小物が置いてある (E1)	トッププレートからケトル以外の小物を取り除いてください
	使用できないケトルをトッププレートに置いた (E1)	IH 対応の使用できるケトルを使ってください (P6・7 参照)
	ケトルの位置がトッププレートの円中央からずれている (E1)	ケトルをトッププレートの円中央に置いてください
	使用后、電源プラグを差したままになっている	電源プラグをコンセントから抜いてください
プラグを差し込むとパチッと火花が出ることがある	瞬間的な放電現象が発生した	IH 調理器特有の現象であり、異常ではありません
	金属や異物がプラグや接続部に付着していた	ご使用を中止して、当社のご相談窓口までご連絡ください

故障かな？と思ったら②

こんなときは		原因	対 策
使用中ケトルなどから音がする		ケトルの種類などによって、「キーン」「ジー」「ブーン」などの共振音が発生している	ケトルの位置をずらしたり、ふたをすることで改善することがあります
エラー表示	E1	「ケトル検知機能」 「小物検知機能」が働いている	トッププレートからケトル以外の小物を取り除いてください
			IH 対応の使用できるケトルを使ってください（P 6・7 参照）
			ケトルをトッププレートの円中央に置いてください
	E2	「オーバーヒートエラー」 本体内部の温度が上がり過ぎている	本体を十分冷ましてから、再度電源を入れてください
			吸気口・排気口のほこりなどを取り除いてください（P 13 参照）
	E4	「低電圧エラー」 供給電圧が不足している	定格 15 A・交流 100 V のコンセントを単独で使用してください
	E6	「温度過昇エラー」 温度センサーが高温を検知している（空焚きなど）	ケトルに水が入っているか確認してください
	H	「高温注意」 トッププレートの温度が高くなっている	トッププレートが高温になっています 手を触れないように注意してください 十分冷ましてから使用してください
上記以外のエラー表示		ただちに使用を中止して、当社のご相談窓口までご連絡ください	
ファンから異音がしたり、回転に異常がある			
電源コードにキズがついたり、切れてしまった			

長年ご使用の電気製品の点検のお願い

定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」などを確認してください。長年のご使用などの影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

こんな症状はありませんか？

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 電源プラグ・コードが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 本体内部から異常な音がする。
- その他異常・故障がある。

ご使用中止！！

故障や事故防止のため、ただちに使用を中止して、電源プラグを抜き、当社のご相談窓口までご連絡ください。

お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にしないでください。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、当社のご相談窓口へお申し付けください。

1. 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書が付属しています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

- 保証期間中でも故障原因によっては有償での修理となる場合がありますので、P19 <保証規定> をよくお読みください。
- 当社修理技術者以外の方が分解・修理した場合は、保証対象外となります。

2. 修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。

- 保証期間中は、保証書をご用意の上、ご相談窓口までご一報ください。
保証書の記載内容に基づき、当社で無償修理いたします。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、ご相談窓口までお問い合わせください。

製品仕様

品 番 (品 名)		EDI-1 (ドリップケトル用温度調整 IH ヒーター)		
電 源		AC100V 50/60Hz	定格消費電力	1000W
本体寸法		約 幅 20.5 × 奥行 20.5 × 高さ 5.0 (cm)		
本体重量		約 1.5 kg (付属の電源コードを含む)		
本体材質		トップレート：耐熱ガラス 本体：ポリプロピレン・PBT 樹脂		
付 属 品		電源コード	電源コード長	約 180 cm
設 定	加熱モード	5 段階 200W / 400W : 弱 600W / 800W : 中 1000W : 強		
	定温モード	60℃～96℃、100℃ ※60～96℃は 30 分間の保温が可能		

●製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書を添えてご相談窓口までご連絡ください。

品 番	EDI-1
保証期間	お買い上げ日より 1 年間 ※本体 / 電源コード
お買い上げ日	年 月 日
お 客 様	お名前 ご住所 お電話
販 売 店	販売店名 ご住所 お電話

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には、当社のご相談窓口までご連絡ください。無償で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等や異常電圧などの外部要因等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
- 有償修理の場合、修理にかかわる費用はお客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

修理メモ

--

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3
フリーダイヤル：0120-39-8208
<https://www.hario.com>

EDI-1 説明書 2002

ご相談窓口

MADE IN CHINA